



この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。

松 葉

植物名： マツ科 アカマツ
学名： *Pinus densiflora*
使用部位： 葉
食薬区分： 食



photo by Dalgial, CC-BY-SA, from Wikimedia Commons

山野や野原に自生するマツ科の針葉樹で、マツタケが根に寄生することで知られています。*Pinus*属諸種植物 (*Pinaceae*)の分泌物から精油を除いて得た樹脂は「ロジン(コロホニウム)」と呼ばれ、絆創膏の基剤、石鹸、ワックス、印刷インキなど広い用途で用いられます。

伝統医学的使用法

高血圧

関節痛

リウマチ

湿疹

中薬大辞典 原色牧野和漢薬草大図鑑 和漢薬の事典

文献報告

抗肥満 ①

抗酸化 ②

抗 菌 ③④

①Biol. Pharm. Bull, 2006, 29, 2111-5

②Nutr. Res. Pract, 2010, 4, 16-22

③J. Microbiol. Biotechnol, 2009, 19, 391-6

④Biol. Pharm. Bull, 2004, 27, 863-6

① 抗肥満

論文名 松葉抽出物の3T3-L1前駆脂肪細胞の分化に対する効果と高脂肪食育成ラットの肥満に対する効果
Effects of pine needle extract on differentiation of 3T3-L1 preadipocytes and obesity in high-fat diet fed rats

出典 Biol. Pharm. Bull, 2006, 29, 2111-5

要約 松葉抽出物は、3T3-L1脂肪細胞中のグリセロール3リン酸脱水素酵素とPPAR- α の発現を抑制した。また、ラットに6週間高脂肪食を与えたところ、同時に松葉抽出物を与えた群では、与えなかった群と比較して、体重増加が抑制され、内臓脂肪量、血漿TG、血漿総コレステロールも有意に減少した。さらに病理学的に脂肪肝の軽減が認められた。

② 抗酸化

論文名 アカマツ葉からのプロアントシアニジン抽出法の比較とその抽出物の生物活性
Comparison of methods for proanthocyanidin extraction from pine (*Pinus densiflora*) needles and biological activities of the extracts

出典 Nutr. Res. Pract, 2010, 4, 16-22

要約 アカマツ葉の抽出溶媒を検討したところ、エタノール抽出物が最も高いプロアントシアニジン含量を示した。比較的プロアントシアニジン含量の高かった熱水-ヘキサン抽出物 (HWH) は、DPPH、FIC、FRAPを用いた抗酸化活性測定で、優れた活性を示した。さらにマクロファージによるNO産生抑制についてもHWHが最も高い活性を示した。

【色分け凡例】

■ 強壯関連

■ 脳機能関連

■ 高齢者向け

■ 女性向け

■ 血流関連

■ メタボ対策

■ その他



健やかな未来を創る自然の力
福田龍株式会社

(お問い合わせ) 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11

TEL: 06-6364-5861 FAX: 06-6364-6562

URL: www.fukudaryu.co.jp

Power of Kanpou